

誰もが幸せに暮らせる街を
目指して頑張ります！

石川てるひこ メイン政策

住み続けたい快適なまちづくり

- ◎ 防災・減災に向けた取り組みの強化
- ◎ 防犯・交通安全に向けた取り組みの強化
- ◎ 環境にやさしい交通インフラの整備の促進
- ◎ 観光・商業振興によるまちの活性化の推進

市民と共に発展するまちづくり

- ◎ 市民活動の強化による協働社会の充実
- ◎ 未来を担うことができる学校教育の充実
- ◎ 子育て・介護施策の充実による安心社会の構築
- ◎ スポーツ振興のための施策の充実

次世代に引き継ぐことのできるまちづくり

- ◎ 就労そして居住できる場の確保
- ◎ 未来を見据えた公共施設の再配置と有効活用
- ◎ 中小企業振興政策の拡充と新産業の創出の推進
- ◎ カーボンニュートラル実現に向けた施策の強化



石川てるひこ プロフィール

- ▶昭和 39 年 6 月 碧南市に生まれる
- ▶昭和 58 年 4 月 アイシン精機株式会社
(現 株式会社アイシン) 入社
- ▶昭和 59 年 2 月 アイシン高等学園 卒業
- ▶平成 8 年 9 月 アイシン労働組合 中央執行委員
- ▶平成 24 年 9 月 アイシン労働組合 顧問

【議会】

- ▶平成 16 年 4 月 碧南市議会議員初当選 (5 期連続)
- ▶平成 24 年 5 月 衣浦衛生組合議会 議長
- ▶平成 29 年 5 月 碧南市議会 議長
- ▶平成 30 年 5 月 碧南市 監査委員
- ※他、平成 17 年 5 月以降、
毎年、委員会委員長等要職を歴任

【現在の役職】

- ▶碧南市議会 議会基本条例推進特別委員会 委員長
- ▶碧南市議会 市民クラブ 会長
- ▶愛知県立碧南工科高校 学校評議員
- ▶碧南市少年少女発明クラブ 指導委員
- ▶碧南市陸上競技協会 顧問
- ▶へきなん焼きそばまちおこし隊 事務局長



▲ホームページ



▲Facebook

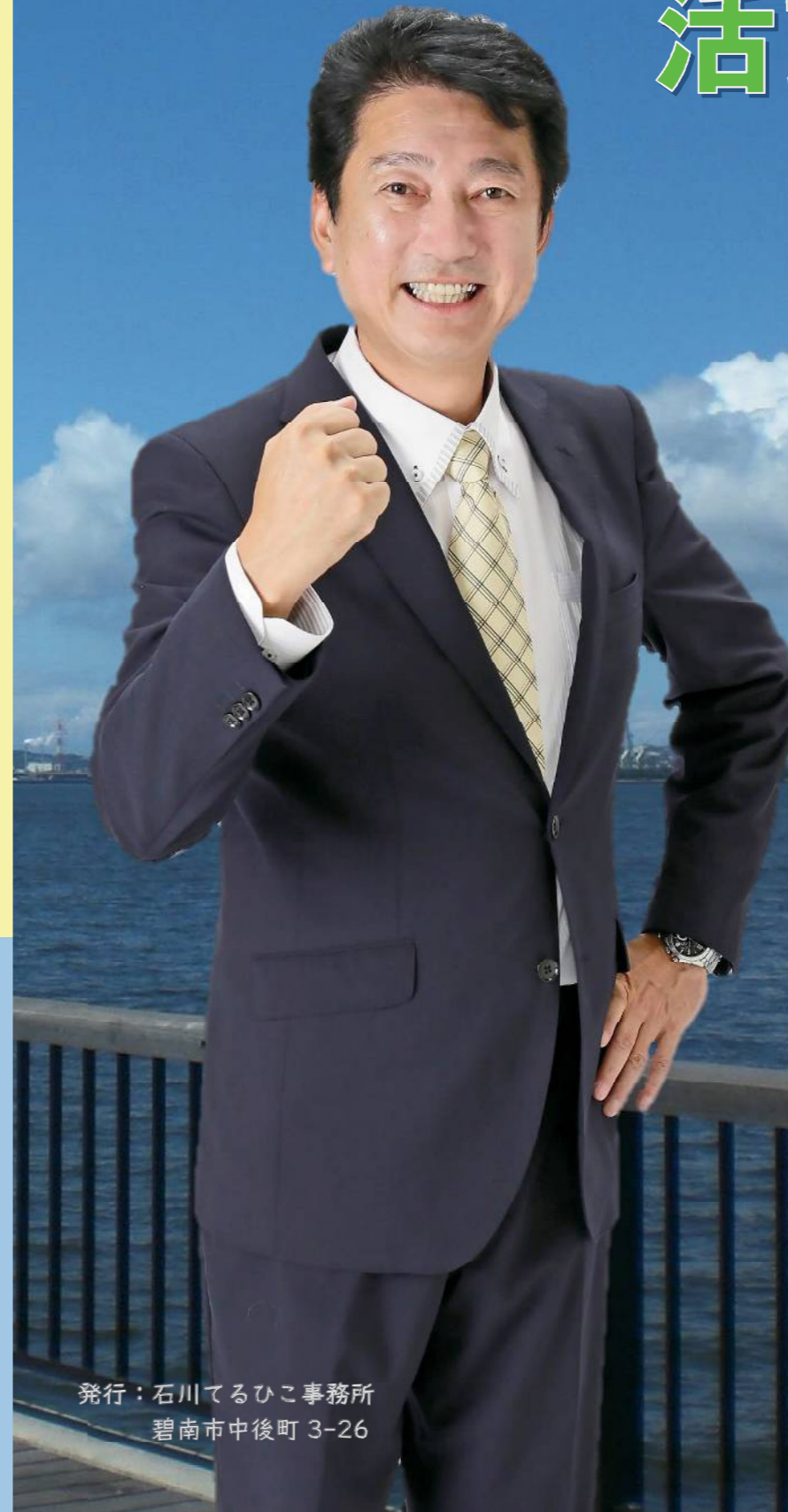


▲お問い合わせ

《住んで良かったと実感できる街 碧南》

No.91 特別号

石川てるひこ 活動レポート



皆様の温かいご支援をいただき6期目のチャレンジをさせていただくことになりました「石川てるひこ」でございます。

私はこの5期20年間、働く者・生活者・納税者の代表として、「未来が安心できる街」、そして「次世代に引き継ぐことのできる街」を目指し、全力で取り組んでまいりました。

地球温暖化や自然災害等、気候変動により様々な影響が生じている現在、対策の手法等も大きく変える必要があります。また少子高齢化の進行への対応や近年の物価高騰等への対応も必要となり、行政運営の大きな変換機を迎えています。このような時だからこそ、市民の皆様とともに碧南市の未来を考え、「誰もが豊かで幸せに暮らすことのできる街」に向けて取り組んでいく必要があります。

引き続き、市民の皆様の声を政策につなげ、「住んで良かったと実感できる街 碧南」を目指し、取り組んで参ります。一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

石川輝彦

発行：石川てるひこ事務所
碧南市中後町 3-26

住み続けたい快適なまちづくり

防災・減災対策の推進

市民が安全に安心して暮らすことができるよう、防災・減災対策を最重点政策として取り組んできました。防災メールや標高マップと表示、地域連携 BCP、さらには避難所運営マニュアルやファーストミッションボックス等を提案し実現してきました。



電柱に標高表示



避難所開設訓練

交通インフラの整備促進

特に朝夕の通勤時間帯の渋滞が繰り返されていることから、環境問題対策や交通安全対策、そして物流改善対策の視点で取り組んできました。

現在、愛知県知事との交渉により、国道 247 号線（産業道路）の 4 車線化に向けた工事が進んでいます。



道路・交差点の新設



産業道路の 4 車線化

市民の皆様の声への取り組み

皆さんの暮らしに直結する声をいただき、実現してきました！



カラー舗装による注意喚起



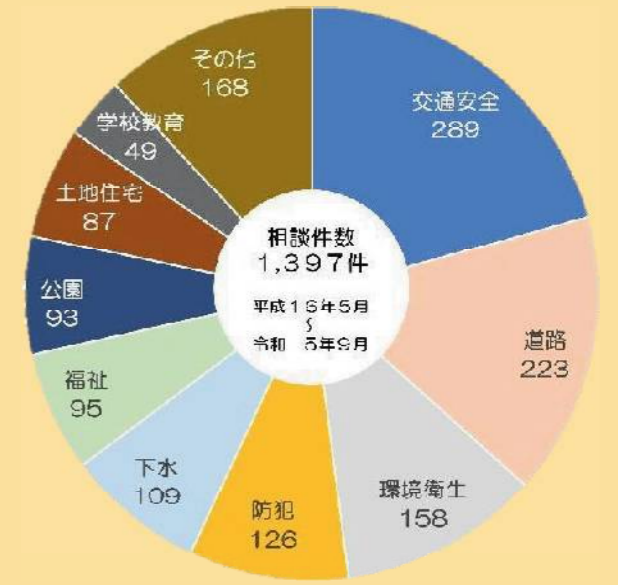
カーブミラーの設置



歩行者用押しボタン信号の設置



側溝整備による冠水対策



これまでの相談解決件数

市民と共に発展するまちづくり

子育て環境の充実

ジェンダー平等や女性の社会進出が当たり前になっている今、保育のニーズは益々高まっています。

働く仲間が安心して働くことができるよう、保育園の低年齢見受け入れや休日保育の実施、児童クラブの受け入れ拡充等、環境整備に向けて取り組んできました。



病児・病後児保育の充実



児童クラブの充実

就労・居住できる場の確保

碧南市が発展し続けるためには、人口の維持・拡大が必須の条件となります。そのためには、働くことができ、生活する場所が必要です。

その必要性を訴え、都市計画マスタープランも変更しました。今では工場の進出も見え始めています。



北部産業地の開発



居住地の開発

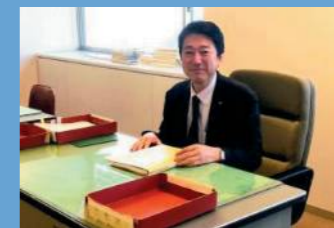
20年間の活動ギャラリー



初当選（5期連続当選）



議長



監査委員



一般質問



要望書提出



街頭活動



市民との懇談会



働く仲間との懇談会

次世代に引き継ぐことのできるまちづくり

広域行政の推進

無駄に税金を使うことなく、行政サービスを向上させるためには、碧南市単独で事業を進めるのではなく、近隣市と協力しながら進めていくことも必要です。

今では、安城市や西尾市と公共バス（くるくるバス等）の相互乗り入れが実現しました。



安城市榎前町



碧南市市民病院



県営鷺塚団地

脱炭素に向けた取り組みの推進

地球温暖化への対応として、全世界で 2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて動き出しています。

碧南市として「ゼロカーボンシティ」を目指すことも発表しました。企業と市民、そして碧南市が脱炭素を目指すことのできる政策を提言します。



充電スタンドの設置



火力発電所での取組



ものづくり教育



避難所開設訓練（FMB）



へきなん自転車散歩



まちおこし